

2022.11.14

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

- 植物モニタリング活動 11/21 (終了後、有志で沖山地区の草刈り)、12/5、12/12
いずれも9:00 ため池公園スタート
- 林の手入れ活動 (赤塚公園ニリンソウを守る会) 11/20、11/27、12/18 10:00 大門観察台集合
★いずれも、飛び入り参加歓迎! 雨天は小雨でも中止
<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

やっと紅葉・黄葉が美しくなりました



11/14のモニタリングは快晴。黄葉・紅葉は青空の下だと一段と映えます。
←沖山地区東側の大イチョウ。地面を敷き詰めた落ち葉に注ぐ木漏れ日もいい感じで、本格的な秋が感じられるようになりました。

右の写真はヌルデの紅葉。ウルシの仲間ですから紅葉はきれいなのですが、この数年は葉が虫食いで、まともに紅葉することがなかったのですが、久しぶりに紅くなりました。



サザンカは一気に満開



11/7には1輪しか開いていなかったのが1週間後にはもう満開。この1週間で秋が足早にやってきました。



「秋来たいなば、春遠からじ」 ……ムム……なんか変だなあ！
 そうだ、「冬」が抜けている……



上の写真は春咲く花の葉の展開で、上段左からオオイヌノフグリ、カラスノエンドウ、ムラサキケマン、下段左からオドリコソウ、ヒメオドリコソウ。春になる前の寒い時期に葉を出すのは普通なのですが、それにしても早すぎます。今にも花を開きそうな勢いで背丈を伸ばしています。このほかにセントウソウ、ニリンソウも展葉、明るい街路ではホトケノザが咲き始めました。



こちらは樹木。左のエノキは全体をクズのつるに覆われてしまっているのに健気にも春の新芽を膨らませています。右のヒサカキは蕾を持っています。



来年の前半は「ラニーニャ現象」で日本列島の冬は厳寒になると予想されていて、このまま一直線に暖かくなるとも考えられません。いったいどうなるのでしょうか。しっかり観察と記録を続けていかなければなりません。

沖山地区西側ロープ柵内の草刈りを行いました

生物多様性保全を目的にモニタリングのグループが管理しているのですが、今年はアズマネザサとクサギなどの実生木が異常に繁茂。手入れは11/20も行う予定です。写真は手入れ前と後。

